

ひと・夢・まち 町長コラム

自分のことを自慢していませんか？（令和3年10月号） 西郷どんの教えその3 2

正しいことを常に志す人は、自分のやった良いことを自慢しないものだ。

人をあっと言わせるようなことをして、その時だけいい気分にいるうちはまだ未熟だと思
い、反省したほうがいい。

「道に志す者は、大いなる業績、目立つような事業を貴ばないものである。」

この教えは、西郷さんが出会った司馬温厚氏(中国の学者・政治家)の「独りを慎む」という
条の一節である。

ことを成した時の心が正しければ、あらゆる言語・行動は、その正しい心によって正しい
方向に進められる。しかし、人目に目立つことにこだわったり、人に対して裏と表の使い分
けをしたり、自分においても内省を忘れてしまったりすることで、一時の快適を好み、いい
気になってしまう。厳に自戒すべきことであると教えている。